



令和5年3月20日(月)
 幼保連携型認定こども園 津田このみ学園

3月 あひるぐみだより

昼夜の寒暖差はありますが、日中の暖かな日差しに春の訪れを感じます。園庭ではプランターをのぞき込み、顔を出したチューリップの芽にちょこんと触れてみる子がいます。その触れ方はまるで赤ちゃんの頬に触るようでとても大事に思っていることが伝わります。その様子に一回りも二回りも大きくなったことが分かり、とても頼もしく感じています。



★こんなに大きくなりました。みんな、ありがとう！



ほんの一年前、新しい環境になり不安いっぱいたくさん泣いていたところが遠い日の思い出のように感じています。あっという間に園生活に慣れ、靴を一人で履いたりトイレにいけるようになったり・・・今ではハサミが使えたり、自分の持ち物を自分で準備するとてもカッコいいお兄さんお姉さんばかりです。自分のことだけでなく、困っている子を助けてあげられる優しい子どもたちに私たちもいつも感心させられています。

乳幼児期で一番大きな成長がみられる貴重な時期の子どもたちと過ごす中、私たちもたくさんの感動や発見をし、とても幸せな毎日でした。これからも子どもたちの成長を陰ながら応援していますので引き続きよろしく願いいたします。至らない点も多くあったと思いますが、あたたかく見守っていただきご協力ありがとうございました。

あひるぐみ 中井泰代 田中南菜子 振角來世



楽しかった遠足、その後・・・

ぽかぽか陽気の中、大好きな友達と遠足に行きました。お家に帰った子どもたちからいろいろな土産話を聞くことができたのではないのでしょうか？公園までの道中、見つけた動物風船ポイントラリーをしました。シール貼りは毎朝登園すると出席カードに貼っているのでお手の物です。秋の親子遠足では貼るのが難しかった子たちもあっという間に貼りました。

次の日からは遠足ごっこが至るところで始まりました。大きな布を敷いてはその上に弁当箱を広げます。食べているところを「はい、チーズ」と写真に撮る姿は保育者そのものです。お家の人が作ってくれた弁当は本当に嬉しかったのだと思います。心のこもった弁当、ありがとうございました。

